

吟道月報

NO 31
50.2.5

碩心会

老化を防ぐ最良の方法である
と言ふことである。

人間は四ツ足のワモのから

吟道夜はなし

道（吟道）と健康

会長 三井 雲彦

吟道月報の11号に「吟と健康」と題してオニの心臓と言はれる腹と呼吸法が健康につながる一文を著しましたが、角菱を変えて、もう一度考えて見ませう。

「健康長寿の秘訣は道を足で歩みつけ道を求めつけることである人は長生したければ足で大いに道歩き、頭で生涯道を求めつけることだ」以上はある大学教授の言葉である足を丈夫にするこゝが健康の基礎であり、頭を使って木道していくこゝが、

二本の足で立上り人間となつた。ハイハイする赤坊が、立ち上ることが出来たあの時の誇らしげな、嬉しそうな顔は、まさに人間入りした嬉しその表現であらう。その赤ん坊の足はやがて四倍に成長して大人となり、その足が退化して死んでゆく。人は足に始つて、足に終る。昔の郵便屋さんがどこの国でも一番長生であつたと言はれ、大山詣や八十八箇所巡りも足の老化を防ぐ人間の智慧であつたのだ。最近の日本の子供の足が退化しつつあるとの報告がある。町の道は四つ足の自動車に占領され遊ぶ場もなく足を鍛える遠足は出来ず、遠バス、遠電になつているゆゆしき大勢である。人間にとって歩くことほど容易な健康法はない。先づ道を歩いて、足の老化を防ぐこゝが第一である。

次の健康法・長寿のコツは頭の健康法である。それには何でもよいから、一つの道、即ち学問の道、芸の道、武道、趣味の道を歩くことである。この道は多種多彩である学問の道、佛道、剣道、柔道、書道、華道、茶道、吟道又然りである。この道は永遠に伸びがり終着点がない道である。すべて生涯求めつづけてゆくべきものである。道を楽しむことを真の道楽と言う。道を兼しみ求めてゆく限り頭は老化しない。学者、禪僧の長命なる又むべなるかなである。

最近のテレビニュースで趣味の人形作り奉仕の人形作りをしているハ十六オのおばあさん、九十オで今尚全国を歩き廻つていられる地理学の大先生の話もあった。

今後ともよく歩き、腹から出す声で充分息を吸い充分息を吐いて吟じつつ、吟の求道、吟の道の精進を生涯続けたいものだと思ふ同好の人の一人でも多からんことを念願してやまない。

以上

県本部関係

- ◎ 理事会・初吟会を二月二十六日、平塚市農業会館にて開催。参会者百三十名
- ◎ オ三回青少年吟道大会は四月二十日、平塚市農業会館にて開催予定。碩心会よりの出吟担当七名、リ振つて参加ありたし。

碩心会本部関係

- ◎ 碩心会初吟懇親会は一月十二日、京急蓮子ビルチセンターにて開催。参加者百八十八名。支評会吟、師範吟、式典を終え、一時より余興に入り三十六題のすぐれた名演技続出。四時までたっぷり敷を尽くすことが出来ました。総務、当番支評の方々の役御苦勞御でした。各支部の熱烈な御支援を心から感謝いたします。

◎ 二月十六日(日)十二時半より午後五時まで、

逗子地区の第一回吟道講習会を沼間会館にて開催いたしました。会場二、三十名の余席があります。他地区より見学に、どうぞおいで下さい。

◎ 春季昇任審査会は三月十六日(日)午前十時から二部に分け、図書館ホールで開催されます課題吟次の通り、

初段	九月十日(ノ32)	海南行(ノ38)
二段	早に深川を登す(ノ4)	舟由良港に至る(ノ5)
初任	壁に題す(ノ36)	金州城(ノ60)
三段	芳野懐古(ノ56)	芳野懐古(ノ55)
四段	時に題す(ノ6)	古寺訪梅(ノ63)
中任	涼州詞(ノ44)	春曉(ノ52)
五段	やわらかに(ノ42)	今日もまた(ノ54)
六段	細川玉子(ノ60)	意に可なり(ノ58)
興任	漢詩絶句三巻より	和歌一題

◎ 吟道日報一月号の致場録成日程に誤りがありました。次の通り訂正いたします。

①、火旺日 下山口の場所森山神社と神明社に、

②、木旺日 建設を 火旺日に

③、金旺日 銀詠の場所を逗子銀座商店街会議室

会員異動

◎ 新会員

吟甫 萩原美代子 横須賀市佐野町五の二二

電0四六八(51)一六五六

山口みえ子 横須賀市鶴尾三ノ二〇七七〜六

電0四六八(42)三二五二七

安田俊秀 (24条泉) 再入会

◎ 経籍 107村田澄枝 桜山支部より逗子Bに

◎ 名簿訂正

月報NO28 新会員 下山口新倉すみ子を

新倉澄子に

271吟甫 小山田三江 電話0468(51)一三四七新設